

みんなでまもろうね! エスカレーター の ただしいのりかた



保護者の皆さまへ

エスカレーターは誤った使い方をすると思いがけない事故につながるおそれがあります。
エスカレーターをご利用の際はお子さまから目をはなさず、十分にご注意をお願いいたします。

エスカレーターにのりときの5つのおやくそく。

きいろいせんの
うちがわにのりましょう



保護者の皆さまへ

●靴や衣服の裾などがエスカレーターの隙間やくしに挟まれて、ケガをすることがあります。とくに小さなお子さまが内側板の近くに乘っていると、踏段と側面(スカートガード)の隙間に挟まれるおそれがあります。小さなお子さまと乗る場合は、必ず手をつないで黄色い線の内側、踏段の中央にお乗りください。

てすりにつかまって
のりましょう



保護者の皆さまへ

●移動手すりにつかまっていないと、停電などでエスカレーターが急停止した場合に転倒するおそれがあります。ただし、手すりに手の届かない、あるいはようやく手が届くような小さなお子さまの場合は、必ず手をつないでお乗りください。

からだをのりだしたり、
てすりにまたがったり
してはいけません



保護者の皆さまへ

●体を乗り出したり、手すりにまたがったりしていると、天井や保護板(三角部ガード板)、壁などに頭をぶつけたり、頭や体を挟まれたり、エスカレーターの外側に転落するおそれがあります。

エスカレーターのちかくで
あそばないようにしましょう



保護者の皆さまへ

●乗降口付近で遊んでいると、踏段とくしのかみ合い部分に手を挟まれるおそれがあります。特に踏段とくしのかみ合い部分で、紙クズや吸い殻などに手を出すのは危険です。



おりるときは、あしをおおきくふみだしましょう

保護者の皆さまへ

●降り口にきても、そのまま踏み出さずに乗っていると、つまずいて転倒したり、つま先を挟まれたりして、ケガをすることがあります。

三菱電機ビルテクノサービスは日本全国で、
エレベーター・エスカレーター安全キャンペーンを開催しています。

●企業活動の一環として、現在まで全国で1,000回以上開催。年間1,000人以上の方に参加いただいています。

●お子さま・高齢者からビルオーナーまで幅広い層を対象に、安全のための正しい知識をご説明しています。



ビルを、まるごと、心地よくする。

三菱電機ビルテクノサービス株式会社